

---

# 神の国

変態な愛国者

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神の国

### 【コード】

N9662N

### 【作者名】

変態な愛国者

### 【あらすじ】

神の国の歴史を綴った物語である。

神の国の話をしよう。

神の国は豊かな自然があり、明瞭な四季があり、誇るべき歴史と文化、伝統がある。

その国に住む民は皆勤勉で、思慮深く、慎ましく、高貴な血を引く神の子らである。

その国は幾度となく国難に直面し迎え撃ってきた。

そのたびに神の子らは団結し、国難を乗り越えてきた。

そして彼らに史上最大の戦火が襲いかかる。

白い肌を持つ侵略者は黒や黄色の肌を持つ民を劣等種だとして彼らの国を荒らし彼らを奴隷にしてきた。

全ての国が白き肌の侵略者に滅ぼされるのは時間の問題だった。

だが神の国は自存自衛のため、虐げられている全ての民のために立ち上がり聖戦を始めたのだ。

この聖戦は歴史上もつとも崇高な使命のもと運命づけられた神の子らによつてはじめられたのである。

神の子らは多くの血と涙を流し、自らの使命のため、愛する祖国のため、愛する妻のため、愛する子のために勇敢に戦い桜花の如く散つていった。

彼らの勇敢なる行動は実を結び虐げられていた国や民たちは全て独立を果たしたのだ。

後世彼らの勇敢な行いは神話として受け継がれるだろう。

神の子らが聖戦を始めた日を忘れてはいけない。

我々は彼らの犠牲の上に生きているのだから。

神の国の未来についても話をしよう。

神の国は白き肌の侵略者の手によつて業火に包まれた。

神の国は不死鳥の如くよみがえり再生を果たすかにみえた……。

結果は見かけ上再生を果たしただろう。

だが神の子らは心を、神の子らが本来持っているはずの心を失ってしまった。

白き肌の侵略者は神の国を占領し、占領政策として神の子らの心を壊し聖戦の記憶を忘却の彼方絵と葬り去ってしまったのだ。

見かけ上の再生を果たそうと、それはしよせん砂上の楼閣である。

だが案ずることはない、近い将来神の子の中から神の国を再生する指導者が現れ愚民となってしまった神の子らを救い彼らを導き神の国に繁栄をもたらすだろう。

そう、我らは神の子である。

我ら神の子は選ばれし民族である。

神の子らよ立ち上がり悪を討つのだ。

戦わずして我らに明日はない。

我々の生と自由をかけた闘争を始めるのだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9662n/>

---

神の国

2010年10月9日03時07分発行